

平成 26 年度 第 3 回地域密着型サービス運営委員会 会議次第

日 時 平成 27 年 2 月 9 日 (月)  
介護保険運営協議会終了後  
場 所 二宮町役場 第 1 会議室

1. 議 題

(1) 地域密着型サービスの指定等の状況について

地域密着型サービス事業者の新規指定について及び地域密着型サービスに係る指定同意の状況について (資料)

(2) その他

1. 地域密着型サービス事業者の新規指定について  
平成 27 年 1 月中の新規指定はありませんでした。

2. 地域密着型サービスに係る指定同意の状況について

【他市町村施設の利用同意（制度改正前利用者に係るみなし指定及び指定更新に係る同意を除く）】

施設名	種類	所在市町村	現利用者数	増加 (H27.1)
デイサービスセンター 丸太の家	認知症対応型通所介護	中井町	6 件	△1 件
グループホーム はなの里	認知症対応型共同生活介護	中井町	9 件	△2 件
グループホーム はなくらぶ	認知症対応型共同生活介護	小田原市	0 件	△1 件
グループホーム こゆるぎの家	認知症対応型共同生活介護	大磯町	1 件	0 件
グループホーム 悠悠苑	認知症対応型共同生活介護	大磯町	1 件	0 件
グループホーム ローズハウス	認知症対応型共同生活介護	小田原市	1 件	0 件
グループホーム みやまの里	認知症対応型共同生活介護	松田町	1 件	0 件
豊田敬愛ホーム ユニット	地域密着型介護老人 福祉施設入所者生活介護	平塚市	1 件	0 件
計			20 件	△4 件

#### 増加分について

○はなの里（中井町）2 名増

ケース 1 認知症状による妄想、排泄の失敗、汚物のしまい込み、異食などの症状により介護の手間が増している状況であるなか、主介護者である長男の妻は両股関節の人工関節置換術を行いつつ身体負担が多いなか対象者の介護を行っている、週 3 日の通所サービスや短期入所サービスを利用しても身体的に在宅介護への限界が来ている状況である。

ケース 2 認知症状による失見当識、便失禁、異食などの症状により介護の手間が増している状況である、主介護者である息子夫婦は自営業で日中は介護が困難であり遠方の家族の通い支援で支えてきた、また介護サービスを利用しつつも夜間の介護もあり精神的、身体的に在宅介護への限界が来ている状況である。

両対象者の認知症状には専門的なケアができる施設への入所介護が適切であることから施設への入所を希望したが、町内 2 施設（計 36 床）は満床状態で入所できる時期もわからない状況である、介護者や本人の身体状況、緊急性を鑑み同意を求めたものである。

減少分について

○はなの里（中井町）4名減・・・利用者4名は病院への入院、老健など他の施設へ入所したことによる減

○丸太の家（中井町）1名減・・・長期入院による利用の中止

○グループホームはなくらぶ（小田原市）  
利用者の転出により本町が保険者でなくなったための減

**【町内施設利用の同意（制度改正前利用者に係るみなし指定及び指定更新に係る同意を除く）】**

施設名	種類	同意先市町村	現利用者数	増加 (H27.1)
グループホーム はなの家	認知症対応型共同 生活介護	小田原市・伊勢原市・ 秦野市	3件	/
グループホーム かわわの家	認知症対応型共同 生活介護	平塚市・相模原市・ 大磯町・秦野市・静岡 県小山町	5件	
もとまちの家	地域密着型介護老 人福祉施設	大磯町	2件	
	小規模多機能型居 宅介護	大磯町	0件	
つぐみのおか デイサービス	（介護予防）認知 症対応型通所介護	海老名市・中井町	2件	
計			12件	0件